



道弘君(左)と愛優さん(中)はミニバスケット部、麻由子さん(右)は陸上部で頑張っています。



くす玉が割られ、まつりのスタート。



歩いて会って何でも話す  
ワクワクの突撃取材

# あつてグッド

市民の皆さんが  
たくさん登場

☆今回訪ねたのは  
「御成町地区」

H18. 8.16取材



## 今

年で39回目を迎えるこの夏祭りは、言わずもがなではありませんが、日中は大文字踊りやぶっかけ神輿など、夜はメインイベントの大文字焼きと花火などで盛り上がります。パレードなどのスタート地点の御成町2丁目では、オープニングのテープカットとくす玉が割られ、小学生ゴールデンパレードで華々しくまつりがスタート。カメラを片手にお母さんたちは、あつちに行ったり、こつちに行ったり大忙し。

## 続

いての大文字踊りは、先頭が有浦小学校の子供たち。鈴木道弘君(有浦小5年・清水南)と細川愛優さん(同・有浦4丁目)と若松麻由子さん(同・御成町4丁目)に直前インタビュー。練習は何回したの? 「1回」。そんなモン? 「勉強が忙しくて、1回しかできなかったって言いなさい」と先生。ムム、なんか練習不足みたい。大丈夫かな? じゃあ、夏休みの宿題は済んだの? 「僕は一人勉強が残っている」と道弘君。「工作が間に合つか心配」「私も」と愛優さんと麻由子さん。

踊りの前に変なこと聞いちゃったかな。本番ではこちらの心配もよそに、全員息の合った踊り。上手でしたヨ。パレードなどのスタートとなる御成町2丁目の広場には、ぶっかけ神輿部会の面々が、各神輿が集まった広場でいまや遅しと仁王立ち。「今年で21回目になるんだ。今年の神輿は7基出す」とは、ぶっかけ神輿部会の部長 富樫茂さん(水門町)。「今回は、神輿の責任者には木彫りのこれ。参加者にはこつちだ。広報? ヨシッ、どつちもやろう!」。ウム、さすが大将! 気分がいい! 大文字踊りの列がだいぶ進んだ頃、ぶっかけ神輿が集まった広場では、出発を前に各陣とも顔が紅潮し気合十分! 中には、お神酒の利き過ぎで赤くなっている人もチラホラ。神輿が通りに並ぶと、

「今年で最後だと思って頑張る」と3代目ぶっかけ神輿部会長の富樫茂さん。



ぶっかけ神輿参加者に配られたペンダント。

